

『三譯総解(第九)』ハンゲル表記満洲語文語索引*

王 海波
(嶺南師範学院)

キーワード: 『三譯総解』、ハンゲル表記、満洲語文語

1. はじめに

朝鮮時代の司譯院は、外交通訳を担うと同時に、外国語教育機関としても機能していた。ここには漢学・倭学・蒙学・女真学の四学が置かれ、満洲人の入関後には女真学が清学へと改められた。現存する清学書としては、読本類の『八歳兒』・『小兒論』・『三譯総解』・『清語老乞大』と、辞書類の『同文類解』・『漢清文鑑』が挙げられる(小倉 1914a: 44-45; 1914b: 257-262; Lie 1972: 19-21; 邵磊 2011: 290)。

清学書におけるハンゲル表記の満洲語文語は、必ずしも満洲文字で書かれた満洲語文語を一对一で転写したものではない。例えば、満洲語文語の CVwV (C=子音、V=単母音または二重母音)に相当する語形が、ハンゲル表記では1音節で書かれる場合もあれば、2音節で書かれる場合もある。また、満洲語文語の e に対応するハンゲル表記や io に対応するハンゲル表記などにも、それぞれ複数の対応形式が見られる。ハンゲル表記の満洲語文語は、満洲文字では表しきれない発音上の細部を、ある程度反映している可能性がある。清学書における満洲語文語の満洲文字表記とハンゲル表記の対応関係に関する研究としては、池上(1951; 1954; 1963)、今西(1958)、성백인(1984)、岸田(1989)、Ikegami(1990)、崔宰宇(1997)、菅野(2005)、邵磊(2011; 2016)、和田(2013)、王敵非(2013)、邵磊・多麗梅(2022; 2023)、邵磊・金龍軍(2022)、邵磊・林茶英(2022)、邵磊・王敵非(2022)、邵磊・任國俊(2023)などが挙げられる。

満洲文字とハンゲルの表記対応の問題を検討するには、ハンゲルで記された満洲語文語の語を、対応するメレンドルフ式転写にもとづいて配列し、整理する作業が有効であると考えられる。そこで本稿では、清学書『三譯総解』(全十卷)の第九卷(『三譯総解(第九): 關雲長義釋曹操』)にあるハンゲル表記の満洲語文語の語について、メレンドルフ式転写にもとづき索引を作成する。

2. ハンゲル表記満洲語文語の索引

次表は、清学書『三譯総解(第九)』におけるハンゲル表記の満洲語文語の語形を、メレンドルフ式転写のアルファベット順に配列したものである。

[1] 第1列には、満洲文字で書かれた語のローマ字転写(メレンドルフ式転写)と、その語の和訳を示している。和訳については、羽田(1937)、田村ほか(1966-1968)、福田(2008)等を参考にした。なお、和訳は原則として『三譯総解』中の文脈に限定した意味ではなく、一般的な語義に基づくものとする。

[2] 第1列の動詞については、原則として未完了形とその和訳を記載している。ただし、『三譯総解』における記録が未完了形以外の形式である場合には、第1列に未完了形と和訳を示すとともに、その下の行には、対応する語形を併記している。

* 本稿は、中国国家社会科学基金後期資助項目「満語支語言音系学研究」(課題番号 22FMZB009)の助成を受けた研究成果の一部である。

[3] 第2列には、『三譯総解』に見られるハングル表記の満洲語文語の語形を示している。
 [4] 第3列は、当該語形が『三譯総解』原書のどこに出現しているかを示したものである。たとえば「(9-1a-2-3)」は「第9巻-第1葉a面-第2行-第3語」を表す。「第X語」とは、ハングル表記の満洲語文語のみを対象に順に計数した場合のX番目に現れる語を指す(ハングル表記の満洲語文語以外の語は計数から除外する)。

表1:『三譯総解(第九)』ハングル表記満洲語文語索引

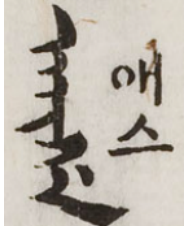
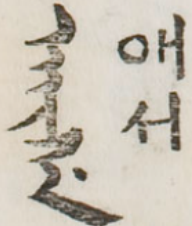
メンドルフ式転写と和訳	ハングル表記	出現箇所
abka 「空」	압카	(9-13b-4-5) (9-15a-5-3) (9-16b-6-3)
abkai 「空(そら)の」	압캐	(9-9a-1-2) (9-20a-5-4)
acambi 「会う ; 合う」	아참비	(9-6a-3-4) (9-19a-4-5)
acambihe	아참비허	(9-20b-1-2)
acame	아차머	(9-19b-4-5)
acarakū	아차라쿠	(9-14b-3-7)
afabumbi 「交付する ; 指示する」	---	---
afabuhabi	아파부하비	(9-18a-5-6)
afabume	아파부머	(9-18b-5-2)
afambi 「攻める、戦う」	---	---
afaha	아파하	(9-8b-1-1)
afame	아파머	(9-8a-3-4)
afarengge ¹	아파렁거	(9-17a-6-1)
aga 「雨」	아가	(9-1b-2-1) (9-2b-6-2)
agambi 「雨が降る」	---	---
agara	아가라	(9-2b-6-3)
agūra 「豹尾槍(槍の一種) ; 兵器 ; 機械」	아구라	(9-1b-4-5) (9-5b-6-4) (9-19a-6-5)
ai 「何 ; 何の」	애	(9-6b-2-5) (9-10b-3-5) (9-15b-6-8) (9-16a-5-3)
aifini 「とっくに」	애틀니	(9-12b-5-3) (9-20b-6-2)
aikabade 「もし」	애크바더	(9-5a-3-2) (9-7a-3-3) (9-17a-5-4)
ainu 「なぜ」	애누	(9-2b-3-3) (9-5a-2-3) (9-20b-6-3)

¹ 母音調和に従えば、afarengge ではなく、afarangge のはずである。なお、岸田(1997: 250)によれば、『満文三国志』および『満漢合璧三国志』では、対応箇所における語形はいずれも afarangge である。

aise 「きっと～だろう」	애서 ²	(9-20b-3-7)
ajige 「小さい」	아지거	(9-2b-5-3)
akdambi 「信頼する」	---	---
akdahangge	악다항거	(9-22a-3-1)
akdulambi 「固める ; 保証する」	---	---
akdulame	악두라머	(9-17a-4-5)
akdun 「頑丈な ; 信用ある」	악둔	(9-11a-1-6)
akū 「無い」	아쿠	(9-1b-3-5) (9-1b-4-1) (9-6a-1-1) (9-10a-3-1) (9-10b-3-7) (9-15b-3-3) (9-17b-2-1) (9-20b-3-4) (9-21a-6-1)
alambi 「告げる」	---	---
alaha	아라하	(9-9a-3-3)
alame	아라머	(9-14b-6-6)
alara	아라라	(9-11b-2-3) (9-20a-2-1)
alanjimbi 「告げに来る」	---	---
alanjihakū	아란지하쿠	(9-20b-6-4)
alanju	아란쥬	(9-18b-4-5)
algimbi 「名が揚がる」	---	---
algikabi	알기카비	(9-9a-1-4)
alimbi 「受ける ; 引き受ける」	아림비	(9-21a-2-2)
alifi	아리피	(9-9b-5-1)
alime	아리머	(9-10a-6-6) (9-10b-3-3) (9-17b-5-5) (9-18a-4-1)
alin 「山」	아린	(9-2b-5-1) (9-3a-4-4) (9-5b-3-2) (9-11b-3-3) (9-13b-2-3)
aliyambi 「待つ ; 後悔する」	---	---
aliyame	아라머	(9-9b-6-1)
amala 「後ろ(に) ; 後に ; これから」	아마라	(9-3b-2-7) (9-4a-5-7) (9-5a-6-4)

² 岸田 (1989: 26) によると、『三譯総解』における aise は 1 例のみの出現であり、ハングル表記は「애스」(原文転写 'ai-stu) である。しかし、筆者の確認によれば、『三譯総解』には aise が 2 例出現しており、ハングル表記はそれぞれ「애스」と「애서」である。具体的には、(1-7b-6-2)では「애스」、(9-20b-3-7)では「애서」と表記されている。

表 2 : 『三譯総解』における aise のハングル表記

aise 「애스」	aise 「애서」
	
(1-7b-6-2)	(9-20b-3-7)

amargi 「北 ; 後ろ」	아말기	(9-4a-3-1)
amasi 「後ろに」	아마시	(9-5b-4-5) (9-12b-4-2)
amba 「大きい」	암바	(9-2a-2-5) (9-3b-6-6) (9-11a-1-1) (9-18b-1-2) (9-20a-5-1) (9-20a-6-1)
ambasa 「大臣たち」	암바사	(9-6a-2-3) (9-6b-2-2) (9-8a-5-2)
ambula 「多い ; 大いに」	암부라	(9-3a-3-2) (9-4b-3-5) (9-6b-1-5) (9-6b-5-1) (9-9b-6-2) (9-15a-3-5) (9-15a-6-1) (9-16b-1-3) (9-18a-6-3)
amcambi 「追う」	---	---
amcaha	암차하	(9-11a-5-1)
amcame	암차머	(9-6a-4-6)
amcarahū	암차라후	(9-4a-3-4)
anabumbi 「押させる ; 押される ; 譲る ; 負ける」	---	---
anaburakū	아나부라쿠	(9-8b-4-3)
angga 「口」	앙가	(9-13b-2-6)
arambi 「作る ; 書く ; ~のふりをする」	---	---
arafi	아라피	(9-9a-6-8) (9-9b-4-1) (9-22a-4-5)
arga 「方法 ; 計略」	알가	(9-6b-4-8) (9-17a-6-6) (9-17b-3-3) (9-17b-4-1)
ashan 「傍ら」	앗한	(9-20b-5-2)
ayoo 「~ではあるまいか」	오오	(9-21a-4-2)
ba 「所 ; 里(距離単位)」	바	(9-2b-1-4) (9-6a-6-4) (9-17b-1-5)
baba 「方々(ほうぼう)」	바바	(9-15a-1-1)
babi 「~所がある ; ~里ある」	바비	(9-18a-6-5)
baci 「所/里より」	바치	(9-1b-6-3) (9-20a-2-5)
bade 「所/里に」	바터	(9-5b-4-3) (9-10b-1-2) (9-13b-1-5) (9-20a-6-6)
bahambi 「得る」	---	---
baha (完了)	바하	(9-3b-2-4)
bahabi	바하비	(9-15b-5-1) (9-15b-5-4)
bahafi	바하피	(9-14b-3-6) (9-19b-1-1) (9-20a-5-3) (9-21b-1-7)
bahakū	바하쿠	(9-19b-4-1)
bahangge	바향거	(9-15a-3-4)
bahanambi 「できる」	---	---
bahanarakū	바하나라쿠	(9-6b-6-3)
baicambi 「調べる」	---	---
baicaci	배차치	(9-15a-3-2)
baili 「恩情」	배리	(9-10b-2-2) (9-21b-4-8)

baitangga 「有用な；重要な；執事人(公事に与りながら品級のない人)」	배탕거	(9-18a-6-4)
baksan 「束；兵の一隊」	박산	(9-13b-6-2) (9-14a-2-6)
banimbi (dere banimbi = dere banjimbi 「依怙最負する」)	---	---
banici	바니치	(9-22a-4-1)
banjimbi 「暮らす；生む；生まれる」	---	---
banjifi	반지피	(9-3a-3-4) (9-5a-1-3)
banjirengge	반지렁거	(9-5a-1-6)
baru 「～に向かって」	바루	(9-9b-1-4) (9-12a-3-5) (9-15a-5-5) (9-19a-2-1)
bata 「敵」	바타	(9-7a-2-3)
be 「を」	버	(9-1a-3-2) (9-2a-4-5) (9-2a-6-5) (9-3a-4-5) (9-3a-5-3) (9-3b-3-4) (9-3b-4-5) (9-3b-5-4) (9-4a-1-7) (9-4a-2-1) (9-4a-3-3) (9-4a-6-3) (9-4b-3-4) (9-4b-5-3) (9-5a-3-5) (9-5b-2-4) (9-5b-3-6) (9-6a-4-5) (9-6b-4-7) (9-7a-2-4) (9-7b-3-5) (9-7b-4-6) (9-8b-3-2) (9-8b-3-5) (9-8b-4-5) (9-8b-6-1) (9-9a-5-4) (9-9b-4-9) (9-9b-5-3) (9-10a-3-6) (9-10a-4-3) (9-10a-6-5) (9-10b-1-4) (9-10b-3-2) (9-10b-5-6) (9-11a-1-8) (9-11a-3-5) (9-11a-4-9) (9-11a-5-2) (9-11b-2-1) (9-11b-3-2) (9-11b-5-5) (9-12a-1-1) (9-12a-1-6) (9-12a-5-6) (9-12b-2-2) (9-12b-5-1) (9-13a-5-5) (9-13b-3-3) (9-13b-6-6) (9-14a-6-3) (9-14b-6-5) (9-16a-2-7) (9-16b-2-2) (9-17a-1-1) (9-17a-3-1) (9-17a-4-4) (9-17b-4-2) (9-17b-6-6) (9-18a-2-4) (9-18a-3-5) (9-18a-4-5) (9-18a-5-3) (9-18b-1-1) (9-18b-2-4) (9-19a-1-2) (9-19a-4-1) (9-19b-6-3) (9-20a-3-2) (9-20a-4-3) (9-20a-6-3) (9-20b-5-5) (9-21a-2-1) (9-21a-3-7) (9-21b-1-6) (9-21b-5-1) (9-22a-1-1) (9-22a-1-5) (9-22a-3-5)
bederembi 「戻る、帰る、退く」	---	---
bederefi	버드러피	(9-2b-4-5) (9-17a-2-7) (9-19b-1-5)
bederehe	버드러허	(9-19a-5-2)
beiguwen 「寒い」 ³	베귄	(9-2a-5-3)
bema 「漢語白馬」	버마	(9-10b-1-1)
beye 「体；自分」	버여	(9-9a-3-1) (9-9a-6-5) (9-9b-3-4) (9-11b-4-3)

³ 当該語は『大清全書』と『増訂清文鑑』ではそれぞれ beiguwen と beikuwen と綴られている。『大清全書』における見出し語 beiguwen 「冷。」および『増訂清文鑑』における見出し語 beikuwen 「冷」を参照されたい。

bi 「私」	비	(9-6b-6-1) (9-8b-2-4) (9-14b-3-3) (9-16a-2-3) (9-17a-2-1) (9-21a-1-6)
bi 「ある ; いる」	비	(9-1b-3-4) (9-2a-3-1) (9-5b-5-6) (9-13b-4-4) (9-17a-6-7)
bici	비치	(9-7a-4-3) (9-14a-2-4) (9-16a-6-7)
bicibe	비치버	(9-8a-5-7)
bihe	비허	(9-9a-1-6) (9-9a-2-6) (9-16a-6-6) (9-16b-1-5)
bio	뵤	(9-3b-1-1) (9-11a-5-5)
bisire	비시러	(9-1b-3-1) (9-13a-3-6) (9-14b-6-7) (9-19b-6-5)
bisu	비수	(9-3b-2-8)
bilambi 「折る ; 期限を限る ; 鋭気を挫く」	---	---
bilafi	비라피	(9-4a-1-8)
bithe 「本 ; 字 ; 学識」	빔허	(9-11a-3-4) (9-22a-4-4)
bodohon 「謀、計略」 ⁴	보도혼	(9-6b-5-2)
boihon 「土」	뵤혼	(9-3b-4-2)
bontoho 「裸馬」	본토호	(9-2a-2-1)
bošombi 「追い出す」	---	---
bošoro	보쇼로	(9-6a-1-5)
bucembi 「死ぬ」	부첨비	(9-8b-1-4)
bucefi	부쳐피	(9-16a-4-5)
bucehe	부쳐허	(9-4b-5-1)
bucere	부쳐러	(9-5a-1-5) (9-21a-1-7)
bucetei	부쳐테	(9-8a-3-3)
buda 「飯」	부다	(9-15b-4-6)
budun 「愚かで弱い」 ⁵	부둔	(9-3b-2-2) (9-8b-4-4)
buksimbi 「伏兵を置く」	---	---
buksiha	복시하	(9-7a-4-2)
bumbi 「与える」	---	---
bufi	부피	(9-4a-5-4)
bure	부러	(9-18a-1-3)
burlambi 「敗走する」 ⁶	---	---

⁴ 王海波 (2026a: 8) の脚注 7 を参照されたい。

⁵ Lie (1977: 273) は、『三譯総解』における本箇所の budun について「Nach Hauer (Hau W. S. 188): budun < butûn ‘unbrauchbar, untauglich usw.’」との脚注を付している。しかしながら、Hauer の原文 (Hauer 1952-1955: 118) には「**budun** 1) unbrauchbar, untauglich, unzulänglich; 2) † für *butûn*.」とある。すなわち、budun には二つの語積項目がある。第一に、unbrauchbar, untauglich, unzulänglich (無用の、不適當な、不十分な) の意味で用いられる場合である。第二に、† butûn 「壺」の異綴 (旧綴) として用いられる場合である (原書における「†」は旧綴を示す)。したがって、「壺」を意味する場合には butûn と budun の両綴が存在する一方で、「無用の」等の意味においては budun の形が用いられ、butûn という綴りは Hauer においては挙げられていない。以上より、Lie (1977: 273) はこれら二つの語積項目を混同している可能性がある。

⁶ 当該動詞の語幹は、『増訂清文鑑』では burula- と綴られている。見出し語 burulambi 「敗走」を参照されたい。一方、『大清全書』では burla- と綴られている。burlambi-ha 「敗。奔逃。」などの見出し語を参照されたい。

burlaha	블라하	(9-1a-3-3) (9-15a-1-3)
burlara	블라라	(9-1b-6-4)
burlarengge ⁷	블라렁거	(9-2a-2-4)
cambi 「天幕を張る；橋をか ける；弓に弦を張る」	참비	(9-3a-5-6)
cang 「漢語昌」 (sioi cang 「許昌」)	창	(9-19a-1-7)
cang 「漢語長」 (guwan yūn cang 「関雲長」) (yūn cang 「雲長」)	창	(9-7b-3-2) (9-19a-3-3) (9-8b-2-7) (9-9b-1-2) (9-9b-3-2) (9-10a-5-1) (9-11a-6-2) (9-11b-2-6) (9-11b-6-2) (9-12b- 1-3) (9-12b-4-1) (9-12b-6-2) (9-13a-3-1) (9- 13a-5-1) (9-14b-6-1) (9-19b-3-2) (9-20a-1-3) (9-20b-2-2) (9-21a-1-2) (9-21a-4-4) (9-21b- 2-3) (9-21b-4-4)
ceng 「漢語程」 (ceng ioi 「程昱」)	청	(9-8b-2-1)
cenghiyang 「漢語丞相」	청향	(9-6b-2-4) (9-9a-2-1) (9-9b-5-2) (9-10a-6-1) (9-15b-1-3)
ci 「より」	치	(9-4a-1-3) (9-5a-5-1) (9-5a-5-3) (9-9a-4-2) (9-9b-2-3) (9-13a-1-4) (9-13b-2-1) (9-15b-2- 5) (9-19b-2-2)
cimari 「明日；朝」	치마리	(9-2b-6-1)
cinglung 「漢語青龍」	칭룽	(9-7b-3-3)
cio 「漢語秋」 (cun cio 「春秋」)	친	(9-11a-3-3)
cisui 「私(事)、私生活上の； 勝手に、自ら」	치쉬	(9-10b-3-9)
citu 「漢語赤兎」 ⁸	치투	(9-7b-4-1)


⁷ 母音調和に従えば、burlarengge ではなく、burlarangge のはずである。なお、岸田 (1997: 245) によれば、『満文三国志』および『満漢合璧三国志』では、対応箇所における語形はいずれも burlarangge である。

⁸ 『對音輯字』(上巻第 19 葉 b 面) では、漢字「赤」に対応する満洲文字は c'y である。一方、『三譯総解』(2-7b-1-3), (2-8b-1-5), (9-7b-4-1)に見られる「赤兎」の満洲語文語は、満洲文字表記・ハングル表記のいずれも citu に対応する形で現れている。筆者の確認では、『満漢合璧三国志』の対応箇所(6-31a-5-10), (6-31b-6-6), (10-101a-3-7)における語形はそれぞれ citu, c'ytu, c'ytu である。また、岸田 (1997: 162, 246) によれば、『三譯総解』(2-8b-1-5), (9-7b-4-1)に対応する『満文三国志』の対応箇所の語形はいずれも citu であり、『満漢合璧三国志』の対応箇所の語形はいずれも c'ytu である。

ciyaliyang 「漢語錢糧」 ⁹	차량	(9-19a-6-7)
cooha 「兵；軍」	초하	(9-1a-2-4) (9-2b-2-2) (9-2b-4-2) (9-3a-4-1) (9-4a-3-2) (9-4a-5-3) (9-7a-4-1) (9-7b-1-8) (9-7b-5-4) (9-8a-2-2) (9-10a-1-3) (9-11b-4-5) (9-13b-3-2) (9-13b-6-4) (9-14a-3-10) (9-14a-6-1) (9-15a-2-1) (9-15b-6-1) (9-17a-2-8) (9-17b-6-4) (9-19a-1-1) (9-19a-3-8) (9-19a-6-1)
coohai 「兵/軍の」	초해	(9-1b-4-4) (9-3b-6-4) (9-4b-1-3) (9-4b-3-2) (9-12a-3-3) (9-19a-6-4) (9-22a-1-7) (9-22a-5-5)
cu 「漢語楮」 (sioi cu 「許楮」)	츄	(9-4a-4-3)
cun 「漢語春」 (cun cio 「春秋」)	춘	(9-11a-3-2)
cuse 「漢語竹子」(cuse moo 「竹」)	츄스	(9-4a-1-5)
da 「根；本；起源；長；矢の序数詞；庾(長さの単位)」	다	(9-13a-5-3)
dabambi 「越える」	---	---
dabafi	다바피	(9-5b-3-7)
dabahan 「峠」 ¹⁰	다바한	(9-5b-3-5)
dabumbi 「数の内に入れる；点ける」	---	---
dabuhabi	다부하비	(9-14a-1-1)
dahambi 「付き従う；投降する；従う」	---	---
dahafi	다하피	(9-9a-5-5)
dahame	다하머	(9-5b-2-5)
dahara	다하라	(9-13b-3-1)
dahūmbi 「繰り返す」	---	---
dahūme	다후머	(9-15b-6-3)

⁹ 当該語は『大清全書』・『清文鑑』・『増訂清文鑑』においてそれぞれ *ciyanliyang*, *ciyanliyang*, *caliyan* と綴られている。『大清全書』における *ciyanliyang be giyatarame hūlhahange* 「侵盜錢糧。」などの見出し語、『大清全書』における見出し語 *ciyanliyang*、『増訂清文鑑』における *caliyan* 「錢糧」などの見出し語を参照されたい。一方、『三譯総解』(9-19a-6-7)および『同文類解』(1-38b-8-1)における当該語の語形は、それぞれ *ciyaliyang* (차량) と *ciyaliyang* 「[차][량』」である。なお、岸田 (1997: 89, 252) によれば、『滿文三國志』および『滿漢合璧三國志』では、対応箇所における語形はいずれも *ciyanliyang* であり、『同文広集全書』・『滿漢類書』・『無圈点字書』における当該語の語形はそれぞれ *ciyanliyang*, *ciyanliyang*, CILIIAN で



ある。しかし、『無圈点字書』における当該語の語形は「」であり、語頭はJである。

¹⁰ 当該語は『大清全書』および『増訂清文鑑』においては *dabagan* と綴られている。『大清全書』における見出し語 *dabagan* 「山嶺之嶺。」および『増訂清文鑑』における見出し語 *dabagan* 「嶺」を参照されたい。なお、『三譯総解』にも *dabagan* の語形が見られる。*dabagan* の項目を参照されたい。

dalimbi 「遮蔽する；追い立てる；保護する」	다림비	(9-8b-6-3)
damu 「もっぱら；ただ；しかし」	다무	(9-5b-5-1) (9-13b-4-1)
dasambi 「改める；治す；治める」	---	---
dasafi	다사피	(9-15b-6-2)
dasatambi 「整える；身繕いする；修理する」	---	---
dasatafi	다사타피	(9-17a-3-2)
de 「に；で」	더	(9-1a-5-3) (9-1a-6-5) (9-1b-1-3) (9-1b-2-2) (9-1b-3-3) (9-1b-3-7) (9-1b-6-5) (9-2a-1-3) (9-3a-1-2) (9-3b-6-2) (9-4a-4-6) (9-4b-2-3) (9-4b-6-4) (9-5b-1-4) (9-6a-5-3) (9-7b-1-3) (9-8b-1-2) (9-8b-4-2) (9-9a-3-4) (9-10b-5-3) (9-11a-1-4) (9-11b-6-5) (9-13a-2-3) (9-13a-3-7) (9-13b-2-7) (9-13b-5-4) (9-14b-4-5) (9-14b-6-8) (9-15a-1-2) (9-15a-2-5) (9-15a-6-3) (9-15b-2-7) (9-15b-4-3) (9-16b-5-1) (9-17a-2-5) (9-17b-3-1) (9-18b-4-2) (9-19a-4-4) (9-19b-1-4) (9-19b-4-4) (9-19b-5-3) (9-19b-6-6) (9-21a-5-6)
dele 「上(に)；皇上」	더리	(9-6b-1-4) (9-9a-6-4)
den 「高い」	던	(9-12b-6-3)
dere 「顔；机；方」	더리	(9-8a-1-2) (9-22a-3-6)
deribumbi 「始める」	---	---
deribuci	더리부치	(9-17b-4-5)
deyembi 「飛ぶ」	---	---
deyere	더여리	(9-18b-4-3)
ding 「漢語丁」 (ding gung 丁公)	딩	(9-21b-6-5)
diyan 「漢語典」 (li diyan 「李典」)	단	(9-18b-2-3)
dobori 「夜」	도보리	(9-15a-5-1) (9-19a-1-4)
dolo 「内；心中；腹中」	도로	(9-8a-2-4)
donjimbi 「聴く」	---	---
donjici	돈지치	(9-8b-2-5)
donjicibe	돈지치버	(9-14a-6-5)
donjifi	돈지피	(9-11a-6-4)
doo 「漢語道」 (hūwa žung doo 「華容道」)	도	(9-1a-3-1) (9-5a-4-5) (9-21a-3-6)
doombi 「川を渡る」	---	---
dooci	도치	(9-3a-1-7)

doro 「道理 ; 礼儀」	도로	(9-3a-4-3) (9-3a-6-4) (9-9a-6-7) (9-9b-3-6) (9-11a-5-4)
dosimbi 「入る ; 進む ; 進撃する」	---	---
dosime	도시머	(9-14b-5-1)
du 「漢語都」 (sioi du 「許都」)	두	(9-17a-2-4)
duin 「四」	뉘	(9-12a-4-1)
dulembi 「通過する ; 時が過ぎる ; 病気が治る ; 燃える」	---	---
duleke	두리커	(9-12b-3-2)
dulimbade 「中央に/で」	두림바더	(9-7b-2-3)
dulimbi 「徹夜する」	---	---
dulime	두리머	(9-19a-1-5)
dulin 「半分」	두린	(9-2a-2-6) (9-4a-1-1)
dun 「惇」 ¹¹ (hiya heo dun 「夏侯惇」)	둔	(9-18a-5-2)
dzo 「漢語濯」 ¹² (dzy dzo žu dzy 「子濯孺子」)	조	(9-11a-4-6)
dzu 「漢語祖」 (han g'ao dzu 「漢高祖」)	주	(9-21b-6-4)
dzy 「漢語子」 ¹³ (dzy dzo žu dzy 「子濯孺子」)	즈	(9-11a-4-5) (9-11a-4-8)
dzy 「漢語之」 ¹⁴ (ioi gung dzy sy 「庾公之斯」)	즈	(9-11a-4-3)
ebsi 「～以来 ; こちらへ」	업시	(9-5a-5-4) (9-9b-2-4)
ebumbi 「降りる」	---	---
ebuŋi	어부피	(9-4a-1-4) (9-13a-1-5)
efujembi 「壊れる」	---	---

¹¹ 岸田 (1997: 251) によれば、『満文三国志』および『満漢合璧三国志』の当該箇所の語形は、それぞれ dun と tūn である。早田 (1998: 70) も『満漢合璧三国志』における「夏侯惇」の「惇」の満文が tūn 綴られていることに言及しており、さらに、『満文金瓶梅』における「安惇」の「惇」の満文も tūn と綴られていることを指摘している。

¹² 『對音輯字』(上巻第 12 葉 b 面) では、漢字「濯」に対応する満洲文字は jo である。一方、『三譯総解』において「子濯孺子」の「濯」は、dzo に対応する形で現れている。

¹³ 満洲文字において漢語 c, z, r, s, ch, zh など (便宜上、ここでは漢語音をピンインで表記する) に対応する文字のメレンドルフ式転写については、von Möllendorff (1892) 本文前の THE ALPHABET 表下の For transcribing Chinese syllables および早田 (2008: 32) を参照されたい。なお、早田 (2008: 32) は、メレンドルフ式転写を改良する独自の転写案を提示している。例えば、漢語の z, zi に対応する満洲文字の転写を区別し、それぞれ dz, dzY と転写する。本稿でも早田 (2008: 32) に従って両者を区別するが、後者については dzy と転写する。

¹⁴ 『對音輯字』(上巻第 19 葉 b 面) では、漢字「之」に対応する満洲文字は jy である。一方、『三譯総解』において「庾公之斯」の「之」は、dzy に対応する形で現れている。

efujeme	어푸저머	(9-12a-2-2)
ejembi「書き記す;記憶する」	---	---
ejehebio	어저허보	(9-10b-6-1)
ekisaka「静かな;沈黙した」	어키사카	(9-16b-5-4) (9-20b-2-3)
elbembí「覆う;茅を葺く」	---	---
elbehe	얼버허	(9-20a-4-4)
elgei「すんでのところで」 ¹⁵	얼게	(9-14b-3-5)
elheken「やや緩やかな」	얼허켄	(9-14a-4-4)
emgeri「一度;既に」	엄거리	(9-7a-1-4) (9-22a-4-3)
emgi「一緒に」	엄기	(9-12b-2-7)
emu「一」	어무	(9-4a-4-7) (9-5a-6-2) (9-5b-1-1) (9-5b-2-1) (9-5b-4-1) (9-6a-6-2) (9-7a-3-4) (9-7a-6-1) (9-13b-6-1) (9-14a-2-5) (9-17a-6-5) (9-19b-3-3) (9-19b-3-5)
enenggi「今日」	어녕기	(9-7a-1-2) (9-10b-2-4)
enggemu「鞍」	앵거무	(9-2a-1-4) (9-2a-4-1)
erdemu「才徳」	얼터무	(9-21a-5-7)
ere「この;これ;この人」	어러	(9-2b-5-6) (9-9a-3-6) (9-11b-1-4) (9-12a-5-2) (9-17b-3-2) (9-17b-3-7) (9-21b-4-1)
erembi「望む」	어럼비	(9-10a-4-4)
ergi「方向」	얼기	(9-7b-1-2) (9-20b-5-1)
erin「時」	어린	(9-2a-6-1)
esukiyembi「叱り飛ばす」	---	---
esukiyeme	어수켜머	(9-4b-4-1)
esukiyere	어수켜러	(9-12b-6-6)
etembi「勝つ」	어텀비	(9-17b-4-8)
etuhun「強壯な;目方のかかる」	어투훈	(9-19b-2-5)
etuku「服」	어투쿠	(9-1b-2-3) (9-2a-4-4) (9-5b-6-1)
etumbi「着る」	---	---
etuhe	어투허	(9-2a-4-3)
fafulambi「禁ずる;伝令する」	---	---
fafulame	파푸라머	(9-3b-1-3)
fafun「法律;法度;伝令」	파푼	(9-9b-4-8) (9-22a-1-8) (9-22a-3-2) (9-22a-5-6)
faidambi「整列する、並ぶ」	---	---
faida	패다	(9-12a-4-4)
faidafi	패다피	(9-7b-2-1)
fakcambi「離れる、別れる」	---	---

¹⁵ 当該語は『大清全書』および『増訂清文鑑』のいずれにおいても *elekei* と綴られている。一方、『三譯総解』の当該箇所では、満洲文字表記・ハングル表記のいずれも、*elgei* に対応する形で現れている。なお、岸田 (1997: 249) が指摘しているように、『満文三国志』および『満漢合璧三国志』では、対応箇所における語形はいずれも *elekei* である。

fakaha	팍차하	(9-9b-2-2)
fakame	팍차머	(9-12a-4-3)
fayangga 「魂」	파양가	(9-7b-6-3)
fehutembi 「一緒に踏む」	---	---
fehuteme	퍼후터머	(9-4b-4-2)
fei 「漢語肥」 ¹⁶ (ho fei 「合肥」)	페	(9-18a-2-1) (9-18a-6-2)
fejergi 「下」	퍼절기	(9-20a-5-5) (9-21b-1-3)
fejile 「下(に)」	퍼지러	(9-9a-1-3)
feksimbi 「馬が走る」	---	---
feksihei	퍽시해	(9-13a-4-2)
feksitembi 「全力疾走する」 ¹⁷	---	---
feksiteme	퍽시터머	(9-12b-3-1)
fetembi 「掘る」	---	---
feteme	퍼터머	(9-11b-2-2)
feye 「傷；巢」	피여	(9-3b-2-3) (9-15a-3-3) (9-15b-1-6)
fonde 「時に」	폰터	(9-1a-3-5) (9-4b-1-2) (9-11b-1-2) (9-19a-5-4)
fonjimbi 「問う」	---	---
fonjime	폰지머	(9-2b-3-2) (9-6b-2-3)
forimbi 「叩く、打つ」	---	---
forime	포리머	(9-16b-2-3)
fucihyalabumbi 「毛焼きさせる；毛焼きされる」	---	---
fucihyalabufi	푸치하라부피	(9-1a-5-6)
funcembi 「余る」	---	---
funceme	푼쳐머	(9-5b-5-4) (9-18b-6-6)
fung 「漢語奉」 (g'o fung siyo 「郭奉孝」) (fung siyo 「奉孝」)	푼	(9-16a-2-5) (9-16a-6-4) (9-16b-3-2) (9-16b-4-3) (9-16b-4-6)
fungnembi 「封ずる」	---	---
fungneme	푼너머	(9-22a-1-6)
furdan 「関口；傷口；針で突いた穴；蟠った根」	폴단	(9-10b-5-2) (9-11b-6-4)
fusihūn 「西に；下に；賤しい」	푸시훈	(9-8b-3-4)
gabtabumbi 「射させる；射られる」	---	---
gabtabufi	갭타부피	(9-1b-1-1)
gaimbi 「とる」	---	---

¹⁶ 『三譯総解』における ho fei は、原文の朝鮮語訳では漢字「合肥」を用いている。これに対して、『満漢合璧三国志』の対応箇所(10-52a-1-6/7)では、「合肥」と表記されている。

¹⁷ 『三譯総解』における feksiteme は feksiteme duleke という文脈に出現しており、『満漢合璧三国志』において対応漢語は「衝將過去」である。『満徳辞典』(Hauer 2007: 150)では、feksibumbi が「vollen Galopp gehen」(全力疾走)と訳されている。

gaicibe	개치버	(9-10a-6-7)
gaifi	개피	(9-1a-2-5) (9-10b-3-4) (9-19a-1-3) (9-19a-4-2)
gaiha	개하	(9-17b-5-6)
gaihabi	개하비	(9-1b-5-2)
gaihangge	개항거	(9-1b-5-1)
gaime	개머	(9-15b-6-5) (9-17a-3-5)
gaisu	개수	(9-18a-4-2)
gaitai 「突然」	개태	(9-20a-1-1)
gajimbi 「持って/取って/連れてくる; 取り/連れに来る」 ¹⁸	---	---
gajihao	가지호	(9-21b-2-1) ¹⁹
gala 「手」	가라	(9-7a-4-6)
gamambi 「持って/取って/連れていく」	가맘비	(9-10b-4-1)
gamame	가마머	(9-12b-5-2)
gelembi 「恐れる」	---	---
gelerakū	거리라쿠	(9-8a-5-6)
gelgun ²⁰ (gelgun akū 「敢えて」)	결군	(9-10b-3-6)
geli 「また」	거리	(9-6a-6-1) (9-17b-6-2)
gemu 「皆」	거무	(9-1a-4-2) (9-2a-4-6) (9-2b-2-4) (9-3b-2-6) (9-5a-1-7) (9-6a-2-6) (9-6b-4-3) (9-7a-4-5) (9-13a-1-2) (9-13a-6-1) (9-15a-2-2) ²¹ (9-16b-5-3) (9-18a-1-1) (9-19a-6-2)
genembi 「行く」	거넘비	(9-1b-1-6) (9-3b-4-7)
geneci	거너치	(9-14b-1-3) (9-15b-6-6)
genefi	거너피	(9-6a-5-1) (9-7b-6-4)
genehe	거너히	(9-19a-2-2) (9-21a-5-3)
genehebi	거너히비	(9-12b-5-4)
genehekū	거너히쿠	(9-21a-4-1)
geneme	거너머	(9-2b-1-2)
genere	거너러	(9-4b-4-3) (9-7b-4-4) (9-10a-2-3)
geren 「多くの; すべての; 衆人」	거런	(9-6a-2-2) (9-6b-2-1) (9-8a-5-1) (9-11b-4-4) (9-12a-3-2) (9-12b-2-4) (9-12b-4-5) (9-13a-1-1) (9-15a-6-4) (9-16a-3-4) (9-16b-5-2) (9-19a-5-5) (9-19b-6-2)

¹⁸ gaji- の意味に関しては、早田 (1993) を参照されたい。

¹⁹ 原書の当該箇所における満洲語文語の満洲文字表記は、印刷が不鮮明である。

²⁰ 当該語は『大清全書』および『増訂清文鑑』のいずれにおいても gelhun と綴られている。なお、岸田 (1997: 247) によれば、『満文三國志』および『満漢合璧三國志』の当該箇所の語形は、それぞれ gelgun と gelhun である。성백인 (1984: 27) によれば、『三譯總解』における towa 「火」、labdo、gelgun akū、targū は主として順治初年以前の文献に見られるものである。

²¹ 原書の当該箇所における満洲語文語のハングル表記は、印刷が不鮮明である。

gese 「～のような」	거서	(9-11b-3-5) (9-15b-2-3) (9-18b-4-4)
geterembumbi 「清潔にする ; 全滅させる」	---	---
geterembuhe	거터럼부허	(9-20a-6-4)
gidabumbi 「圧迫される ; 塩漬けにさせる ; 鶏に卵を抱かせる ; 打ち負かされる ; 魔される」	---	---
gidabufi	기다부피	(9-10a-1-4) ²²
gidabuha	기다부하	(9-14a-6-2)
gidabuhangge	기다부항거	(9-7a-2-1)
gidambi 「押さえる ; 打ち負かす ; 頭を垂れる ; 塩漬けにする ; 鳥が卵を抱く ; 隠す」	---	---
gidafi	기다피	(9-11a-6-6)
gidašambi 「差し招く ; 軽蔑する、いじめる」	---	---
gidašarakū	기다샤라쿠	(9-8b-5-1)
gisun 「言葉」	기순	(9-3b-5-3) (9-7a-5-4) (9-9a-5-3) (9-10a-3-5) (9-11a-6-3)
gisurembi 「話す」	---	---
gisurembihe	기수럼비허	(9-6b-5-5)
gisureme	기수러머	(9-2a-6-6) (9-8a-1-4)
giyan 「理」	간	(9-5a-2-1)
goidambi 「久くなる」	---	---
goidaha	괴다하	(9-9b-6-3) (9-16a-4-6)
goidarakū	괴다라쿠	(9-6a-5-5)
golmin 「長い」	골민	(9-13a-5-7)
goro 「遠い」	고로	(9-14b-1-1) (9-20a-6-5) (9-20b-3-2)
gosihūn 「苦い ; 苦しい」 ²³	고시훈	(9-2a-6-4)
gosin 「仁愛」	고신	(9-8b-6-4)
guculembi 「交友する」	---	---
guculehe	구츄러허	(9-13a-5-4)
gung 「漢語功」	궁	(9-20a-5-2)
gung 「漢語公 (ding gung 「丁公」) (ioi gung dzy sy 「庾公之斯」)	궁	(9-21b-6-6) (9-11a-4-2)

²² 原書の当該箇所における満洲語文語のハングル表記は、印刷が不鮮明である。

²³ 当該語は、『増訂清文鑑』では gosihon と綴られている。gosihon 「苦」などの見出し語を参照されたい。一方、『大清全書』には gosihon と gosihūn の両綴りが収録されている。gosihon 「苦辣。痛。酷。葷。哀。苦辨。」や durime wame yabuhangge umesi gosihūn jalin 「爲抄殺大冤事。」などを参照されたい。『三譯総解』の当該箇所では gosihūn と綴られている。なお、岸田 (1997: 245) によれば、『滿文三国志』および『滿漢合璧三国志』の当該箇所の語形は、いずれも gosihon である。

gurun 「国」	구륄	(9-22a-2-2)
guwan 「漢語関」 (guwan ioi 「関羽」) (guwan yūn cang 「関雲長」)	관	(9-9b-4-3) (9-10a-5-3) (9-21a-1-4) (9-21a-5-4) (9-7b-2-4) (9-19a-3-1)
guwebumbi 「赦免する」	---	---
guwebuci	귀부치	(9-22a-5-1)
guwembi 「鳴く ; 鳴る」	---	---
guweme	귀머	(9-7a-6-6)
gūnimbi 「思う」	---	---
gūnime	구니머	(9-12a-1-7) (9-13a-5-6) (9-16a-3-1) (9-21b-5-2)
gūnire	구니러	(9-11b-3-7)
gūnin	구닌	(9-12a-6-3) (9-16a-5-4)
g'ao 「漢語高」 (han g'ao dzu 「漢高祖」)	간	(9-21b-6-3)
g'o 「漢語郭」 (g'o fung siyo 「郭奉孝」) (g'o jiya 「郭嘉」)	고	(9-16a-2-4) (9-16a-6-3) (9-16a-4-3)
hadala 「轡」	하다라	(9-2a-4-2)
hafan 「官吏」	하판	(9-15a-1-4)
hafasa 「諸官」	하파사	(9-12b-2-5) (9-12b-4-6) (9-15b-1-1)
hafirabumbi 「追い詰められる」	---	---
hafirabufi	하피라부피	(9-2a-1-1)
hafirabuha	하피라부하	(9-17b-1-4)
hafumbi 「貫通する ; 通曉する」	---	---
hafubi ²⁴	하푸비	(9-11a-3-7)
haha 「男」	하하	(9-11a-1-2)
hahi 「緊急な ; 性急な」	하히	(9-17a-6-2)
hairaka 「惜しむべき」 ²⁵	해라카	(9-16b-4-5)
haksan 「険しい ; 凶暴な」	학산	(9-5b-3-4)
hamimbi 「殆ど足りる ; 殆ど～に近い ; 耐えられる」	---	---
hamime	하미머	(9-13b-5-6)

²⁴ 岸田 (1997: 247) によれば、『満文三国志』および『満漢合璧三国志』では、対応箇所における語形はいずれも hafupi である。一方、『三譯総解』の当該箇所では、満洲文字表記・ハングル表記のいずれも、hafubi に対応する形で現れている。

²⁵ 当該語は『大清全書』および『増訂清文鑑』ではそれぞれ hairaka と hairakan と綴られている。『大清全書』における見出し語 ai hairaka 「何足惜。」および『増訂清文鑑』における見出し語 hairakan 「很可惜」を参照されたい。

han 「漢語漢」 ²⁶ (han g'ao dzu 「漢高祖」)	한	(9-21b-6-2)
hanci 「近い」	한치	(9-14b-2-3)
hasa 「速く」 ²⁷	하사	(9-22a-5-3)
hendumbi 「言う」	---	---
henduhebi	헌두허비	(9-18b-4-7)
hendume	헌두머	(9-2b-4-6) (9-3a-3-5) (9-3b-1-4) (9-5a-1-4) (9-6a-2-4) (9-6a-4-2) (9-6b-4-1) (9-8a-2-6) (9-8a-5-3) (9-8b-2-3) (9-9b-1-5) (9-10a-1-1) (9-10a-5-2) (9-10b-4-3) (9-12a-3-6) (9-14a-1-3) (9-14a-5-6) (9-14b-3-2) (9-15b-1-2) (9-16a-2-2) (9-16a-4-2) (9-16a-6-2) (9-16b-2-5) (9-17a-1-3) (9-17b-6-3) (9-18a-1-6) (9-18a-3-2) (9-20a-3-5) (9-20b-2-5) (9-20b-5-7) (9-21a-1-3) (9-21a-3-2) (9-21a-5-1) (9-21b-1-2) (9-21b-2-4) (9-21b-3-4)
heo 「漢語侯」 (hiya heo dun 「夏侯惇」)	훈	(9-18a-5-1)
hese 「教旨；言葉」	허스	(9-10b-3-1)
hetu 「横」	허투	(9-7b-3-6)
heturembi 「話を遮る、口を挟む；道を遮る、道を阻む」	---	---
heturehebi	허투러허비	(9-7b-5-1)
hiowande 「漢語玄德」	환더	(9-19a-4-3) (9-19b-4-3)
hiya 「漢語夏」 (hiya heo dun 「夏侯惇」) (hiya keo 「夏口」)	하	(9-18a-4-6) (9-19b-1-2)
hiyang 「漢語襄」 (hiyang yang 「襄陽」)	향	(9-18a-2-2) (9-18a-4-3)
ho 「漢語合」 (ho fei 「合肥」)	호	(9-18a-1-7) (9-18a-6-1)
holo 「嘘；山谷；牝瓦；畝の間の溝」	호로	(9-13b-2-5)
hono 「なお」	호노	(9-15b-3-1) (9-19b-3-7)
hoton 「城」	호톤	(9-15b-4-2)
huthubumbi 「縛られる」	---	---
huthubumbihe	훈후뵘비허	(9-7a-5-2)

²⁶ 早田 (2009: 139) が指摘しているように、「皇帝」を表す han における n には左側に付点が付かないのに対し、「漢」を表す han の n には左側に付点が付く。一方、『三譯総解』の当該箇所における han 「漢」の n には、左側の付点が見られない。

²⁷ 『満徳辞典』(Hauer 2007: 222) は hasa 「schnell! fix! geschwind!」(速く！急いで！さっさと！) は動詞 hasambi 「schnell machen, eilen」(速くする、急ぐ) の命令形であると見なしている。しかし、当該動詞の未完了形 hasambi は『大清全書』や『増訂清文鑑』には見られない。『三譯総解』における hasa は、hasa tucibufi coohai fafun i tuwanchihiya sehe という文脈に出現しており、直後に動詞 tucibu- が続いているため、副詞のような振る舞いをしていると考えられる。

hūlambi 「読む；呼ぶ；雄鶏が鳴く」	---	---
hūlafī	후라피	(9-17a-1-2)
hūntaha 「杯」 ²⁸	훈타하	(9-20a-3-1)
hūsun 「力」	후순	(9-8a-6-3) (9-10a-1-5)
hūwa 「漢語華」 (hūwa žung 「華容」) (hūwa žung doo 「華容道」)	휘	(9-13b-1-2) (9-1a-2-6) (9-5a-4-3) (9-21a-3-4)
hūwang 「漢語晃」 (sioi hūwang 「徐晃」)	황	(9-4a-4-5)
i 「の；で」	이	(9-2a-5-5) (9-2b-4-3) (9-2b-5-2) (9-5a-5-6) (9-5b-3-3) (9-6b-1-3) (9-7a-6-4) (9-7b-5-3) (9-8a-2-3) (9-8a-6-2) (9-9a-6-3) (9-9b-4-7) (9-10a-3-3) (9-11b-3-4) (9-11b-4-2) (9-12b-2-6) (9-12b-6-5) (9-13b-2-4) (9-13b-6-3) (9-14a-3-1) (9-14a-3-3) (9-14a-3-9) (9-15a-5-4) (9-15b-2-2) (9-17b-3-4) (9-18b-2-6) (9-20a-2-8) (9-20b-5-3) (9-21b-4-6) (9-22a-1-9) (9-22a-2-3) (9-22a-5-7)
ibembi 「前進する」	---	---
ibefi	이버피	(9-9a-6-1)
ici 「右；方向」	이치	(9-12a-4-2)
ilan 「三」	이란	(9-5a-5-7) (9-5b-5-2)
iletuken 「ややあらわな」	이러투켄	(9-12a-5-4)
ilimbi 「立つ；起きる；止まる；休む」	---	---
ilifi	이리피	(9-8a-2-5)
ilihabi	이리하비	(9-2b-2-5) (9-3a-2-2) (9-7b-2-2)
ilihai 「立ったまま；立ち所に」	이리해	(9-5a-3-6) ²⁹
iling 「漢語夷陵」 ³⁰	이렁	(9-1b-6-1)

²⁸ 王海波 (2026b: 56) の脚注 27 を参照されたい。

²⁹ ilihai には (1) 「立ったまま」と (2) 「立ち所に」の意味がある。『大清全書』の ilihai andande 「立刻。」および ilihai waha 「立決。」における ilihai は (2) の意味である。『三譯総解』(9-5a-3-6)における ilihai は、ilihai wambi という文脈に出現しており、『満漢合璧三国志』における対応漢語は「立斬之」である。したがって、ここでの ilihai は (1) 「立ったまま」ではなく、(2) 「立ち所に」の意味と解すべきである。Lie (1977: 99) も、当該の ilihai wambi をドイツ語で auf der Stelle töten (即座に殺す) と訳しており、(2) の意味に理解している。

一方、『三譯総解』原書における朝鮮語訳は「선재」であり、高麗語言研究院 (2006: 405) はこれを現代語で「선 채로」と訳し、例文として『三譯総解』の本箇所「다시 힘혀 우는 사람을 선재 죽이리라 다텐다」を挙げている。しかしながら、「선 채로」は (1) 「立ったまま」を意味し、(2) 「立ち所に」を表すものではない。

³⁰ 『三譯総解』(9-1b-6-1) iling に対応する原書の朝鮮語訳は、漢字で書かれた「夷陵」である。Lie (1977: 99) のドイツ語訳にも、「Iling (夷陵)」のように、漢字「夷陵」が示されている。一方、『満漢合璧三国志』の当該箇所(10-98b-3-3)では、iling に対応する漢語が「夷林」と表記されており、誤記であると考えられる。

imbe 「彼を；彼女を」	임버	(9-12a-1-3)
in 「漢語仁」 ³¹ (ts'oo in 「曹仁」)	인	(9-14a-3-8) (9-14a-5-3) (9-16b-6-8) (9-17b-5-2) (9-18a-1-5)
ineku 「同じ；元の」	이너쿠	(9-9b-3-3) (9-21b-3-1)
inengi 「日」	이닝기	(9-1a-2-3) (9-9a-2-3) (9-10a-5-6) (9-16b-6-2)
injembi 「笑う」	인점비	(9-6b-1-6) (9-6b-3-2) (9-7a-1-1)
inu 「そうだ；是；も」	이누	(9-14b-5-3)
ioi 「漢語瑜」 (jeo ioi 「周瑜」)	우	(9-6b-4-5)
ioi 「漢語羽」 (guwan ioi 「関羽」)	우	(9-9b-4-4) (9-10a-5-4) (9-21a-1-5) (9-21a-5-5)
ioi 「漢語庾」 (ioi gung dzy sy 「庾公之斯」)	우	(9-11a-4-1)
ioi 「漢語昱」 (ceng ioi 「程昱」)	우	(9-8b-2-2)
ishunde 「互いに」	잇훈더	(9-8a-1-1)
isibumbi 「至らせる、及ばせる；届ける；贈る、与える」	---	---
isibuha	이시부하	(9-9a-2-5) (9-10b-2-3)
isimbi 「足りる；至る、及ぶ、届く」	---	---
isika	이시카	(9-11b-5-4)
isinambi 「着く、至る」	---	---
isinafi	이시나피	(9-13b-2-8)
isinaha	이시나하	(9-6a-5-2)
isiname	이시나마	(9-13b-5-5)
isinara	이시나라	(9-2b-1-5)
isinjimbi 「到来する」	---	---
isinjici	이신지치	(9-10a-2-2)
isinjifi	이신지피	(9-8a-3-2) (9-14b-5-4) (9-15b-4-4)
isinjihabi	이신지하비	(9-20a-1-4)
jabdumbi 「間に合う」	---	---
jabdurakū	잡두라쿠	(9-2a-1-6)
jabumbi 「答える」	---	---
jabume	자부머	(9-9b-4-2)
jaburakū	자부라쿠	(9-11a-6-7)

³¹ 『對音輯字』(上卷第 46 葉 b 面) では、漢字「仁」に対応する満洲文字は zin である。一方、『三譯総解』に見られる「曹仁」の「仁」の満洲語文語は、満洲文字表記・ハングル表記のいずれも in に対応する形で現れている。なお、岸田(1997: 249)によれば、『満文三国志』および『満漢合璧三国志』の対応箇所語形はいずれも zin である。

jafabumbi「取らせる；掴ませる；逮捕させる」	---	---
jafabufi	자파부피	(9-4a-5-6)
jafambi「取る；掴む；捕らえる、逮捕する；氷が張り詰める；交わりを結ぶ」	---	---
jafafi	자파피	(9-1a-6-2) (9-7b-3-7) (9-20a-3-3)
jafaha	자파하	(9-7b-1-7) (9-19a-3-7)
jafahakū	자파하쿠	(9-21b-3-2)
jai「第二；再び；更に」	재	(9-5a-3-1) (9-16b-6-1)
jakade「～の所に/で；～ので」	자카더	(9-2a-5-1) (9-2b-6-4) (9-4b-2-6) (9-4b-4-4) (9-6a-2-1) (9-11b-2-4) (9-12b-6-7) (9-20a-2-2)
jalan「世；世代；節；兵の一隊；甲喇(軍団の単位)」	자란	(9-11a-1-3) (9-20a-4-2)
jalgan「寿命」	잘간	(9-14a-1-5)
jangkū「大刀」	장쿠	(9-7b-1-6) (9-7b-3-4) (9-19a-3-6)
jangliyoo「漢語張遼」	장료	(9-4a-4-1) (9-13a-4-1) (9-14b-5-2) (9-18a-6-6)
jeku「穀物；糧食」	저쿠	(9-19a-6-6)
jembi「我慢する」	---	---
jenderakū「心に忍びず」	전더라쿠	(9-8b-3-6) (9-13a-3-3)
jenduken「いくらかひそひそと」	전두컨	(9-17b-1-2) (9-17b-5-4)
jeo「漢語州 (jing jeo「荊州」)	전	(9-6a-4-4) (9-18a-3-4)
jeo「漢語周 (jeo ioi「周瑜」)	전	(9-6b-4-4)
jergi「階級；類い；回；凡庸な」	절기	(9-7a-6-2) (9-17b-4-4) (9-17b-4-7)
jilaka「憐れな」 ³²	지라카	(9-16b-4-2)
jilgan「声；音」	질간	(9-4b-6-2) (9-7a-6-5) (9-12b-6-4)
jili「怒り」	지리	(9-3a-3-3) (9-5a-1-2)
jimbi「来る」	짐비	(9-13a-4-3) (9-14a-3-5) (9-17a-3-6)
jifi	지피	(9-5b-4-4) (9-14a-5-5)
jihe	지허	(9-5a-5-2) (9-15a-2-6) (9-19b-4-6) (9-21a-2-4)
jihebi	지허비	(9-5b-2-6)
jin「漢語進」	진	

³² 当該語は『大清全書』および『増訂清文鑑』の見出し語では、それぞれ jilaka と jilakan と綴られている。『大清全書』における見出し語 jilaka「可憐。」および『増訂清文鑑』における見出し語 jilakan「可憐」を参照されたい。『三譯総解』の当該箇所においては、満洲語文語の満洲文字表記・ハングル表記はいずれも jilaka の形式で現れている。なお、岸田 (1997: 250) によれば、『滿文三国志』および『滿漢合璧三国志』では、対応箇所の語形はいずれも jilakan である。

(yo jin 「樂進」)		(9-18b-2-1)
jing 「正に、丁度(漢語正)」	징	(9-2a-5-2) (9-13a-3-4) (9-19b-6-1)
jing 「漢語荊 (jing jeo 「荊州」)	징	(9-6a-4-3) (9-18a-3-3)
jiramin 「厚い」	지라민	(9-10a-6-3)
jiya 「漢語嘉 (g'o jiya 「郭嘉」)	자	(9-16a-4-4)
jiyangjiyūn 「漢語將軍」 ³³	장권	(9-9b-2-1) (9-10a-3-2) (9-10b-5-4) (9-11a-3-1) (9-11b-6-6) (9-16a-4-1) (9-18b-1-3) (9-18b-2-7) (9-20a-4-1) (9-20b-2-6) (9-21b-1-4)
jiyūn 「漢語軍 (jiyūn sy 「軍師」)	권	(9-9b-4-5)
jiyūn 「漢語郡 (nan jiyūn 「南郡」)	권	(9-13b-5-3) (9-14b-4-4) (9-15a-2-4) (9-17a-4-3)
jobolon 「憂い；災難；喪」	조보론	(9-8b-5-3) (9-9a-4-1) (9-10b-1-3) (9-13b-1-6) (9-15b-2-4) (9-20a-6-2)
joolambi 「兩手を交えて袖の中に入れる」	---	---
joolafi	쪼라피	(9-7a-5-1)
jortai 「故意に」	졸태	(9-21b-5-3)
jugūn 「道」	쥬군	(9-2b-5-4) (9-3a-4-7) (9-4b-6-3) (9-7b-4-5) (9-10a-2-4) (9-13b-6-5)
jug'oliyang 「漢語諸葛亮」	쥬고량	(9-6b-4-6)
jukimbi 「塞ぐ」	---	---
jukifi	쥬키피	(9-3b-4-6)
jukiha	쥬키하	(9-4a-2-2)
julergi 「南；前」	쥬덜기	(9-2b-4-1)
juleri 「南(に)；前(に)」	쥬러리	(9-3b-3-5)
julesi 「南に；前に」	쥬러시	(9-2b-1-1) (9-9a-5-7)
julgei 「昔の」	줄게	(9-10b-6-2) (9-21b-6-1)
jurcembu 「違背する」	---	---
jurcehe	줄쳐허	(9-3b-6-1)
jurgan 「行；筋；義；部院(中央官庁)」	줄간	(9-9a-1-1) (9-11a-1-7) (9-11b-3-1)
juwan 「十」	쥬완	(9-2b-1-3)
juwe 「二」	쥬위	(9-7b-1-1) (9-20b-4-2)
juwebumbi 「運ばせる」	---	---
juwebume	쥬부머	(9-3b-4-3)

³³ 当該語は『増訂清文鑑』では jiyanggiyūn と綴られている。『大清全書』には jiyanggiyūn と jiyangjiyūn の両綴りが収録されている。なお、『大清全書』には ilhi jiyangciyūn 「副將軍。」という語も収録されており、jiyangciyūn の語形が見られるが、誤記である可能性が高い。

kai 「指定や断定の終助詞」	캐	(9-3a-5-7) (9-5a-2-2) (9-6a-5-6) (9-7a-3-1) (9-7a-5-3) (9-8a-6-5) (9-9a-4-4) (9-11a-2-3) (9-12a-6-4) (9-14a-2-2) (9-14b-4-1) (9-16a-3-3) (9-21b-5-5) (9-22a-3-3)
kambi 「囲む；遮る」	---	---
kame	카머	(9-13b-6-7)
karu 「報い」	카루	(9-15b-6-4) (9-17a-3-4)
karun 「見張り」	카룬	(9-14a-3-2)
katunjambi 「耐える」	---	---
katunjeme ³⁴	카툰저머	(9-1b-1-5)
kemuni 「しよっちゆう；まだ」	커무니	(9-10b-5-7)
kenehunjembi 「疑う」	---	---
kenehunjeme	커너훈저머	(9-13a-3-5)
keo 「漢語口」 (hiya keo 「夏口」)	코	(9-19b-1-3)
kesi 「恩」	커시	(9-9a-2-4) (9-10a-6-4)
kiru 「旗」	키루	(9-1b-4-3)
kiyangkiyan 「強健な；豪傑」	캉캉	(9-3b-3-2)
kiyoo 「漢語橋」	코	(9-3a-5-5)
kundulembi 「敬う」	---	---
kunduleci	쿤두러치	(9-20b-1-1)
kunduleme	쿤두러머	(9-19b-6-4)
kungming 「漢語孔明」	쿵밍	(9-19b-5-1) (9-20a-2-3) (9-20b-2-4) (9-21a-3-1) (9-21b-1-1) (9-21b-3-3)
lakcambi 「断つ」	---	---
lakcarakū	락차라쿠	(9-4b-6-5)
lashalambi 「断つ；決断する」	---	---
lashalarakū	랏하라라쿠	(9-8a-4-1)
li 「漢語李」 (li diyan 「李典」)	리	(9-18b-2-2)
lifambi 「泥濘地に陥る」	리팸비	(9-3a-6-1)
lifame	리파머	(9-3a-1-6)
liyoo 「馬糧(漢語料)」	료	(9-15b-5-3)
loho 「腰刀」	로호	(9-1b-1-2) (9-4a-5-5)
majige 「少し」	마지거	(9-3b-5-1) (9-6a-3-2) (9-15b-2-8) (9-18b-3-2)
mangga 「難しい；硬い；強い；高価な」	망가	(9-3b-3-1) (9-8b-4-1)

³⁴ 当該語の語幹は、『大清全書』および『増訂清文鑑』のいずれにおいても katunja- と綴られている。一方、『三譯総解』の当該箇所では、満洲文字表記・ハングル表記のいずれも、katunjeme に対応する形で現れている。なお、岸田 (1997: 245) が指摘しているように、『満文三国志』および『満漢合璧三国志』では、対応箇所における語形はいずれも katunjeme である。

manggi 「～た後」	망기	(9-16b-6-5)
maribumbi 「戻す」	---	---
maribufi	마리부피	(9-12a-3-1)
maribure	마리부러	(9-12b-2-1)
marimbi 「戻る」		
marifi	마리피	(9-5b-4-6)
marire	마리러	(9-12b-4-3)
mehumbi 「身を俯せる、体を屈める」	---	---
mehume	머후머	(9-9a-6-6) (9-9b-3-5)
mejembu 「砕ける」	---	---
mejefi	메저피	(9-7b-6-2)
meiren 「肩；正副の副；弓柄などの両側」	메린	(9-18b-2-5)
mejige 「消息」	머지거	(9-18b-3-3)
mimbe 「私を」	میمبه	(9-16b-1-1) (9-20b-3-1)
minde 「私に」	민더	(9-17a-6-4)
mini 「私の」	미니	(9-3b-5-2) (9-7a-2-2) (9-10b-3-8) (9-14a-1-4)
mohombi 「果てる；言葉に窮する；窮乏する」	---	---
mohofi	모호피	(9-4b-2-4) (9-10a-1-6)
moo 「樹木；木材；棒」	모	(9-4a-1-6)
morin 「馬；午」	모린	(9-1a-4-5) (9-2a-1-2) (9-2a-2-2) (9-2b-2-3) (9-3a-1-5) (9-4a-1-2) (9-5a-6-1) (9-6a-2-5) (9-6b-1-2) (9-7b-4-2) (9-8a-6-1) (9-9a-6-2) (9-12a-2-3) (9-12b-1-5) (9-13a-1-3) (9-15b-5-2) (9-17a-2-9) (9-17b-6-5) (9-18b-6-2) (9-19a-6-3) (9-19b-3-6)
moringga 「乗馬した(人)」	모링가	(9-4a-5-2)
muduri 「龍；辰」	무두리	(9-15b-1-7)
mujilen 「心」	무지런	(9-12a-2-1) (9-14a-4-3)
muke 「水」	무커	(9-3a-1-3) (9-3a-5-2) (9-11b-5-2)
murimbi 「燃る；絞る；拗ねる」	무림비	(9-8b-3-3)
muse 「私たち(包括的)」	무서	(9-7a-4-4)
musai 「私たち(包括的)の」	무세	(9-7a-1-3)
mutembi 「できる」	---	---
muterakū	무터라쿠	(9-8a-1-5)
na 「地」	나	(9-13a-2-2)
nadan 「七」	나단	(9-13b-4-3) (9-18b-6-4)
nakambi 「やめる」	---	---
nakara	나카라	(9-3a-6-3)

nan 「漢語南」 (nan jiyūn 「南郡」)	난	(9-13b-5-2) (9-14b-4-3) (9-15a-2-3) (9-17a-4-2)
neciken 「やや平らな」	너치킨	(9-5b-4-2)
neimbi 「開く」	넴비	(9-3a-5-1)
neihe	네허	(9-17b-2-5)
neire	네리	(9-17b-2-4)
nenembi 「先行する」	---	---
nenehe 「先の」	너너허	(9-9a-2-2) (9-10a-3-4) (9-10a-5-5) (9-19b-2-1) (9-21b-4-7)
ni 「の ; で」	니	(9-1b-6-2) (9-9b-1-3) (9-10a-6-2) (9-12b-1-4) (9-13b-1-4) (9-14b-6-2) (9-19a-1-8)
niyakūrambi 「跪く」	---	---
niyakūraha	냐쿠라하	(9-13a-2-4)
niyalma 「人」	날마	(9-1a-4-1) (9-1b-3-2) (9-1b-3-6) (9-2b-4-4) (9-3b-2-5) (9-3b-3-3) (9-3b-6-5) (9-4a-6-2) (9-4b-2-1) (9-4b-3-3) (9-4b-5-2) (9-5a-3-4) (9-5a-5-9) (9-5b-5-5) (9-6b-4-2) (9-8a-5-4) (9-10b-6-3) (9-11b-3-8) (9-14a-3-4) (9-15b-4-5) (9-19b-3-4) (9-20b-5-4) (9-22a-3-4)
niyalmai 「人の」	날매	(9-8b-5-2) (9-12a-3-4)
nure 「酒(粟や黍などを原料として醸造した酒)」	누리	(9-20a-2-7)
obumbi 「する」	---	---
obufi	오부피	(9-18b-2-8)
obuhabi	오부하비	(9-11a-2-2)
obure	오부러	(9-10a-4-2)
okdombi 「迎える」	---	---
okdofi	옥도피	(9-20a-3-4) (9-20a-6-7)
okdoko	옥도코	(9-14b-2-4) (9-20b-3-3)
okdome	옥도머	(9-14a-5-4)
olhombi 「乾く ; 恐れる」	---	---
olhoho	올호호	(9-15b-3-2)
olhome	올호머	(9-4a-3-6)
ombi 「なる」	옴비	(9-15b-6-7) (9-18a-2-7)
oci	오치	(9-8a-4-2) (9-17a-6-3) (9-17b-2-2)
ofi	오피	(9-2a-6-2) (9-2b-5-5) (9-11b-3-9) (9-14b-2-2) (9-15a-3-6) (9-21a-6-2)
oho	오호	(9-14a-5-1)
ohobi	오호비	(9-19b-2-6)
ojorakū	오조라쿠	(9-3a-2-1) (9-14b-1-4) (9-22a-5-2)
ombio	옴뵤	(9-8a-4-3) (9-22a-4-2)
omihon 「飢えた」	오미혼	(9-4b-2-2)

onggolo 「～前に」	옹고로	(9-2b-2-1)
orho 「草」	올호	(9-3b-4-1)
orin 「二十」	오린	(9-13b-4-2)
poo 「漢語砲」	포	(9-7a-6-3)
sa 「～たち」	사	(9-21b-1-5)
sabumbi 「見る」	---	---
sabufi	사부피	(9-7b-5-5) (9-11b-5-6)
sacibumbi 「斬らせる；鋤かせる」	---	---
sacibufi	사치부피	(9-1b-1-4)
saiyun 「良いか」 ³⁵	새운	(9-9b-2-5)
sakda 「老いた」	삭다	(9-3b-2-1)
sambi 「知る」	---	---
safi	사피	(9-12b-2-3) (9-13a-5-2) ³⁶
sarkū	살쿠	(9-11a-5-3)
sasa 「一緒に」	사사	(9-12b-2-8)
se 「～たち」	스	(9-17b-5-3)
sejilembi 「嘆く」	---	---
sejilefi	서지러피	(9-13a-5-8)
sembi 「言う」	---	---
sefi	스피	(9-14b-4-2) (9-16b-1-6) (9-18b-5-1) (9-20b-4-1)
sehe	스허	(9-5a-4-2) (9-9a-1-5) (9-12a-5-1) (9-14a-2-3) (9-22a-6-2)

³⁵ 当該語は『大清全書』および『増訂清文鑑』では *saiyūn* と綴られている。『大清全書』における見出し語 *saiyūn* 「安否。好麼。」および『増訂清文鑑』における見出し語 *saiyūn* 「好麼」を参照されたい。

清学書における語形を見ると、『漢清文鑑』(6-37b-2-4)では、「好麼」に対応する語は、満洲文字表記では *saiyūn*、ハングル表記では「새원」(*sai.yuen*)と綴られている。また、『同文類解』(1-31a-10-3)では、「好麼」に対応する語は満洲文字表記は示されていないものの、ハングルでは「새원」(*sai.yuen*)と綴られている。

一方、『清語老乞大』(1-24a-5-6), (5-7a-4-4), (5-7b-3-2), (5-8b-1-5)では、満洲文字表記は *saiyūn*、ハングル表記は「새원」(*sai.yuyen*)と綴られている。また、『三譯総解』(9-9b-2-5)では、当該語は満洲文字表記は *saiyun*、ハングル表記は「새운」(*sai.yun*)と綴られている。

なお、『八歳兒』・『小兒論』には当該語は見られない。

以上を次表のとおり整理することができる。

表3：『三譯総解』の *saiyun* および他の清学書における対応語

	満洲文字表記	ハングル表記	出現箇所
三譯総解	<i>saiyun</i>	「새운」(<i>sai.yun</i>)	(9-9b-2-5)
漢清文鑑	<i>saiyūn</i>	「새원」(<i>sai.yuen</i>)	(6-37b-2-4)
同文類解	---	「새원」(<i>sai.yuen</i>)	(1-31a-10-3)
清語老乞大	<i>saiyūn</i>	「새원」(<i>sai.yuyen</i>)	(1-24a-5-6), (5-7a-4-4), (5-7b-3-2), (5-8b-1-5)
八歳兒	---	---	---
小兒論	---	---	---

³⁶ 満洲語文語では、通常 *sabu-* は「見る」を、*sa-* は「知る」を意味する。しかし、原書の(9-12b-2-3), (9-13a-5-2)に見られる *safi* は、文脈や朝鮮語訳から判断すると、「知って」ではなく、むしろ「見て」と解釈すべき用例であると考えられる。

seme	스며	(9-3a-6-2) (9-4a-3-5) (9-4a-6-5) (9-6a-1-4) (9-6b-5-4) (9-15a-4-3) (9-18a-5-5) (9-18b-4-6) (9-19a-5-1) (9-20a-1-5) (9-20b-3-5) (9-21a-2-3)
sere	스리	(9-12a-6-2) (9-16b-4-8)
si 「あなた」	시	(9-15b-1-4) (9-17a-4-1) (9-18a-3-6)
sidende 「間に」	시던더	(9-12b-4-4)
silhi 「胆嚢」	실히	(9-7b-6-1)
simbe 「あなたを」	심버	(9-14b-3-4)
sindambi 「置く ; 放つ」	---	---
sindafi	신다피	(9-12a-1-4) (9-12a-5-7) (9-13a-6-2) (9-14b-6-3)
sindahabi	신다하비	(9-4a-6-6) (9-21b-5-4)
sinde 「あなたに」	신더	(9-17b-1-1) (9-18a-1-2)
sioi 「漢語徐」 (sioi hūwang 「徐晃」)	쉬	(9-4a-4-4)
sioi 「漢語許」 (sioi cang 「許昌」) (sioi cu 「許褚」) (sioi du 「許都」)	쉬	(9-19a-1-6) (9-4a-4-2) (9-17a-2-3)
sirdan 「矢」	실단	(9-1a-6-4)
siyo 「漢語孝」 (g'o fung siyo 「郭奉孝」) (fung siyo 「奉孝」)	쇼	(9-16a-2-6) (9-16a-6-5) (9-16b-4-1) (9-16b-4-4) (9-16b-4-7)
songgocombi 「一緒に泣く」	---	---
songgocome	송고초머	(9-13a-2-1)
songgombi 「泣く」	송곰비	(9-5a-2-4) (9-16a-1-3) (9-16a-3-2)
songgoho	송고호	(9-5a-3-3)
songgome	송고머	(9-16b-2-4)
songgoro	송고로	(9-4b-6-1) (9-15a-6-2)
songgorongge	송고롱거	(9-16a-5-2)
songkoi 「～に依って」	송괴	(9-17b-3-5)
sumbi 「解く ; 脱ぐ ; (他者の服を)脱がせる ; 門を開ける」	---	---
sume	수머	(9-10b-2-1)
sunja 「五」	순자	(9-7b-1-4) (9-10b-5-1) (9-11b-6-3) (9-19a-3-4)
suwe 「あなたたち」	쉬	(9-20b-6-1)
sy 「漢語斯」 (ioi gung dzy sy 「庾公之斯」)	스	(9-11a-4-4)

sy 「漢語師」 ³⁷ (jiyūn sy 「軍師」)	스	(9-9b-4-6)
šadambi 「疲れる」	---	---
šadahabi	사다하비	(9-1a-5-1) (9-6a-3-1) (9-8a-6-4)
šahūrun 「寒い」	샤후룬	(9-2a-5-4)
šambi 「見る」	---	---
šame	샤머	(9-8a-1-3)
šenggi 「額」 ³⁸	성기	(9-1a-5-5)
šumin 「深い」	슈민	(9-6b-5-3) (9-11a-3-6)
taka 「暫く」	타카	(9-15a-4-1) (9-17a-2-6)
tanggū 「百」	탕구	(9-4a-5-1) (9-5b-5-3) (9-7b-1-5) (9-17b-4-3) (9-17b-4-6) (9-18b-6-5) (9-19a-3-5) (9-19b-2-3)
tasha 「虎；寅」	탓하	(9-15b-1-5)
te 「今」	터	(9-15b-4-1) (9-16a-5-1) (9-17a-2-2)
teifun 「杖」	테푼	(9-1a-6-1)
tembi 「座る；住む；職に就く； 駐屯する；沈殿する；水が溜 まる」	---	---
tefi	터피	(9-3a-1-4) (9-19b-5-4)
tehe	터허	(9-20a-2-4)
teni 「やっと」	터니	(9-14a-4-2)
tere 「その；それ；その人； あの；あれ；あの人」	터리	(9-1a-2-2) (9-1a-3-4) (9-2a-6-3) (9-4b-1-1) (9-9a-5-2) (9-11b-1-1) (9-15a-4-5) (9-19a-5-3)
tereci 「それ/あれ/その人/あ の人より；それから；さて； やがて」	터리치	(9-19a-2-3)
tesei 「そ/あの人たちの」 ³⁹	터식	(9-6b-6-2)
teyembi 「休む」	---	---
teyecī	터여치	(9-6a-3-3) (9-6a-5-4)

³⁷ 『對音輯字』（上巻第7葉 a 面）では、漢字「師」に対応する満洲文字は si である。一方、『三譯総解』において「軍師」の「師」は、sy に対応する形で現れている。

³⁸ 当該語は『大清全書』と『増訂清文鑑』のいずれにおいても šenggin と綴られている。

³⁹ 邵磊・多麗梅（2023: 200）は、『三譯総解』における満洲語ハングル表記「-」が、「人称代名詞の属格形」あるいは「漢語借用語」に用いられると指摘している。しかしながら、実際にはこの二類に限られるわけではない。筆者の確認によれば、『三譯総解』において「-」は計 3 例出現し、それぞれ「뉘」(1-13a-1-4)「鄺」、「식」(2-18b-4-5)「～たちの」、「터식」(9-6b-6-2)「彼らの」である。このうち、「터식」(9-6b-6-2)「彼らの」と「뉘」(1-13a-1-4)「鄺」は、それぞれ邵磊・多麗梅（2023: 200）のいう「人称代名詞の属格形」および「漢語借用語」に該当する。一方、「식」(2-18b-4-5)「～たちの」は、この二類のいずれにも属さない。

teyenumbi 「一緒に休む」	---	---
teyenu ⁴⁰	터여누	(9-15a-4-2)
tohombi 「馬を装備する」	---	---
tohome	토호머	(9-2a-1-5)
tolombi 「数える」	---	---
toloci	토로치	(9-4b-5-4)
towa 「火」 ⁴¹	토와	(9-1a-5-2) (9-13b-6-8)
ts'oo 「漢語曹」 (ts'oo in 「曹仁」)	초	(9-14a-3-7) (9-14a-5-2) (9-16b-6-7) (9-17b-5-1) (9-18a-1-4)
ts'oots'oo 「漢語曹操」	초초	(9-1a-2-1) (9-2b-3-1) (9-3a-3-1) (9-4a-2-3) (9-4b-3-1) (9-5a-1-1) (9-5a-5-5) (9-5b-2-3) (9-5b-3-1) (9-6a-1-2) (9-6a-4-1) (9-6b-1-1) (9-6b-3-3) (9-7b-5-2) (9-8a-2-1) (9-9a-5-1) (9-9b-6-4) (9-10a-1-2) (9-10b-4-2) (9-11b-1-3) (9-11b-4-1) (9-12a-5-5) (9-12b-1-1) (9-12b-4-7) (9-13b-1-1) (9-14a-1-2) (9-14a-4-1) (9-14b-3-1) (9-15a-3-1) (9-15a-5-2) (9-16a-2-1) (9-16a-6-1) (9-16b-6-6) (9-17b-6-1) (9-18a-3-1) (9-21a-3-3) (9-21b-4-5)
ts'y 「漢語齒」 ⁴² (yung ts'y 「雍齒」)	츠	(9-22a-1-4)
tu 「纛(大旗、軍旗)」	투	(9-1b-4-2)
tubabe 「そこ/あそこを」	투바버	(9-21a-5-2)
tucibumbi 「出す」	---	---
tucibufi	투치부피	(9-22a-5-4)
tucimbi 「出る」	투침비	(9-9a-4-3)
tucifi	투치피	(9-9a-3-2)
tucike	투치커	(9-18b-4-1)

⁴⁰『増訂清文鑑』には teyenumbi~teyendumbi 「一齊歇息」が収録されている。『三譯総解』(9-15a-4-2)の teyenu は, taka teyenu seme unggihe という文脈に現れており、『満漢合璧三国志』の対応箇所の漢文は「操令將息」である。また、Lie (1977:107) はこれを「Darauf schickte er sie alle sich auszuruhen.」と独訳している。前後の文脈から判断すると、ここでは華容道から辛うじて逃れた曹操が部下たちに休息を取らせようとしたことを表しており、「一齊に休息する」という意味とよく一致する。

一方、『大清全書』には teyenumbi 「群歇。」のほかに teyenu 「歇去。」も収録されているが、後者には「一齊に」という意味が見られず、さらに「去」という意味が付加されている。『大清全書』にはこれと類似する見出し語として、ergenu 「叫他安息去。」、juranu 「令起身。」、tucinu 「叫他出。」、wesinu 「叫他上来。」、wesinure 「叫他上来。」なども見られる。

以上の点を踏まえると、ここでの nu は「一齊」を表す接辞 -nu~ndu ではなく、移動接辞 -nA に由来する可能性がある。さらに、Ikegami (1957) は, dosinu は dosimbi または dosinambi に由来し、juranu は jurambi、tucinu は tucimbi または tucinembi、wasinu は wasimbi または wasinambi、wesinu は wesimbi または wesinumbi にそれぞれ由来すると述べ、dosinu、juranu、tucinu、wasinu、wesinu はそれぞれ語幹 *dosin-, *juran-, *tucin-, *wasin-, *wesin- に命令接辞 *-u が付いた形に遡るとしている。

⁴¹ 王海波 (2026a: 34) の脚注 37 を参照されたい。

⁴²『對音輯字』(上巻第 19 葉 b 面) では、漢字「齒」に対応する満洲文字は c'y である。一方、『三譯総解』において「雍齒」の「齒」は、ts'y に対応する形で現れている(本書では、メレンドルフ式転写の ts' と ts をそれぞれ ts' と ts'y と表記する)。なお、岸田 (1997: 253) によれば、『満文三国志』および『満漢合璧三国志』では、対応箇所における語形は、それぞれ ts'y と c'y である。

tucire	투치리	(9-15b-2-6) (9-17a-5-3)
tuhebumbi 「倒す；落とす；垂らす」	---	---
tuhebure	투허부리	(9-11b-5-3)
tuhenembi 「倒れる；落ちていく」	---	---
tuhenehebi	투허너허비	(9-1a-4-4) (9-5b-1-5)
tuhenere	투허너리	(9-4b-2-5)
tunggen 「胸」	통건	(9-16b-2-1)
tunggu 「淵」	통구	(9-15b-2-1)
turgunde 「～の原因/理由で」	톨군더	(9-6b-3-1) (9-6b-6-4) (9-7a-2-6) (9-16a-1-1)
turibumbi 「賃借り/賃雇いさせる；脱け落ちる」	---	---
turibuhe	투리부허	(9-21a-6-3)
tutambi 「落後する」	---	---
tutaha	투타하	(9-4a-6-1)
tutahabi	투타하비	(9-5a-6-5)
tuttu 「そのように；あのよう に」	톨투	(9-14b-2-1)
tuwakiyabumbi 「見張らせる」	---	---
tuwakiyabuhabi	튀카부하비	(9-18b-3-1)
tuwakiyambi 「見張る」	---	---
tuwakiya	튀카	(9-17a-5-1) (9-18a-5-4)
tuwakiyaci	튀카치	(9-18a-2-6)
tuwambi 「見る」	---	---
tuwaci	투와치	(9-5b-4-7) (9-13b-3-4) (9-14a-3-6)
tuwafi	투와피	(9-20b-5-6)
tuwame	투와머	(9-15a-5-7)
tuwancihiyambi 「正す」	---	---
tuwancihiya	튀치하	(9-22a-6-1)
tuwancihiyahabi	튀치하하비	(9-22a-2-1)
ubade 「ここに/で」	우바더	(9-7a-3-2) (9-8a-3-1) (9-10a-2-1)
ubu 「分け前；倍；三分の一 の分」	우부	(9-5a-5-8) (9-5a-6-3) (9-5b-1-2) (9-5b-2-2) (9-19b-2-4)
ucarambi 「出会う」	---	---
ucaraci	우차라치	(9-3a-4-6) (9-3a-5-4)
udu 「幾つ；いくら～(だど て)」	우두	(9-6a-6-3) (9-8a-5-5) (9-10a-5-7) (9-14a-6-4)
ufarabumbi 「失わせる；損さ せる；失策させる」	---	---
ufaraburakū	우파라부라쿠	(9-16b-1-4)
ujen 「重い」	우견	(9-10a-4-1) (9-11a-2-1) (9-11b-3-6)
uju 「頭；第一」	우쥬	(9-1a-5-4) (9-11a-6-5)

ukcambi 「縛ったものが解ける；罪が宥される；災難から抜け出る」	---	---
ukcafi	옥차피	(9-13b-2-2)
uksin 「鎧；馬甲(兵種の名)」	옥신	(9-1b-2-4) (9-5b-6-2)
ulan 「大きな溝、濠；伝え、教え」	우란	(9-2b-6-5) (9-3b-4-4) (9-4a-1-9) (9-5b-1-3)
ume 「否定命令標識」	우머	(9-17a-5-2) (9-17b-2-3)
unggimbi 「遣わす」	---	---
unggihe	웅기허	(9-12a-1-5) (9-13a-6-3) (9-14b-6-4) (9-15a-4-4)
unggiki	웅기키	(9-12a-6-1)
untuhun 「空の」	운투훈	(9-19b-4-2)
urunakū 「必ず」	우루나쿠	(9-8b-1-3) (9-8b-6-2) (9-9a-3-5) (9-11a-1-5) (9-17a-3-3) (9-21b-4-2)
usacuka 「悲しむべき」	우사츄카	(9-16b-3-1)
ushambi 「恨む」	웃함비	(9-20b-3-6)

usihiyambi 「濡れる、湿る」	---	---
usihiyafi ⁴³	우시하피	(9-1b-2-5)
uthai 「すぐに ; 即ち」	운해	(9-3b-1-2) (9-9a-5-6) (9-12a-5-3) (9-18b-6-1)
uttu 「このように」	운투	(9-16a-1-2) (9-16b-1-2)
wajimbi 「終わる」	---	---
wajifi	와지피	(9-18b-5-3)
wajiha	와지하	(9-14a-2-1)
wajinggala 「終わる前」	와징가라	(9-7a-5-5)
wajirakū	와지라쿠	(9-2a-6-7) (9-4b-5-5)
waliyambi 「捨てる ; 吐き出す ; 展墓する」	---	---
waliyafi	와라피	(9-14b-1-2)

⁴³ 岸田 (1997: 89) によれば、当該動詞の語幹は、『増訂清文鑑』・『同文類解』・『大清全書』・『満漢分類全書』のいずれにおいても usihi- である。筆者の確認によれば、『大清全書』には、usih- を語幹とする usihihe 「汗湿了。汗透了。」のほか、usihya- を語幹とする usihyahe の例 *derbeme usihyahe* 「霉湿了。」も収録されている。『三譯総解』における usihyahe は usihyahe の誤記である可能性が高い。なお、岸田 (1997: 245) によれば、『満文三国志』および『満漢合璧三国志』の対応箇所における語形はいずれも usihyefi である。筆者は『大清全書』・『増訂清文鑑』・『三譯総解』において「濡れる・湿る」、「濡らす・湿す」を表す動詞、「濡れた・湿った」、「やや濡れた・やや湿った」を表す形容詞的な語を、次表のとおり整理した。表中の『満文三国志』・『満漢合璧三国志』の範囲は、『三譯総解』に対応する部分に限る。本稿では、満洲語における形容詞を名詞から独立した品詞と見做すべきかという議論を留保し、「形容詞」ではなく、「形容詞的な語」と称することにする。

表 4 : 語基 usihi(ya/ye)- 「濡れる」の出現例

	動詞		形容詞的な語	
	「濡れる」	「濡らす」	「濡れた」	「やや濡れた」
大清全書	usihhe 「汗湿了。汗透了。」 derbeme usihyahe 「霉湿了。」	---	olhon usihin 「燥湿。」 usihyan 「湿。」	---
増訂清文鑑	usihimbi 「水湿」 usihhe (murimbi, sekiyembi, senembi, sirimbi, šebtehebi の説明文を参照)	usihibumbi 「使湿」	usihin 「湿」	usihiken 「微湿」
三譯総解	usihyafi	---	---	---
満文三国志	usihyefi	---	---	---
満漢合璧三国志	usihyefi 「湿透」	---	---	---

なお、「啜る」の意味を表す動詞語幹として、usihya-/usihya- および ukiye- が存在する。usihya-/usihya- 「啜る」は、上記の usih-/usihya-/usihya- 「濡れる・湿る」とは形式が類似しているが、別語であると考えられる。『大清全書』・『増訂清文鑑』において「啜る」、「啜らせる」を表す語を次表のとおりまとめることができる。

表 5 : 語基 usihya/ye-, ukiye- 「啜る」の出現例

		啜る		啜らせる	
		usihyambi 「嗑粥之嗑。」	---	usihyebumbi 「使啜粥」	---
usihya-/usihya-	大清全書	usihyambi 「嗑粥之嗑。」	---	usihyebumbi 「使啜粥」	---
	増訂清文鑑	usihyembi 「喝粥」 usihye 「喝」	---	usihyebumbi 「使啜粥」	---
ukiy-	大清全書	ukiyembi -fi 「嗑之。食。」 ukiy 「嗑水之嗑。」	---	ukiyebumbi 「使啜粥」	---
	増訂清文鑑	ukiyembi 「喝粥」 ukiy 「喝」	---	ukiyebumbi 「使啜粥」	---

walياهوabi	와랴하비	(9-1b-5-4)
walياهوangge	와랴항거	(9-1b-5-3)
walياهوara	와랴라	(9-2a-4-7)
wambi 「殺す」	암비	(9-3b-6-3) (9-5a-4-1)
wa	와	(9-4a-6-4)
wacibe	와치버	(9-12a-1-2)
waha	와하	(9-10b-5-5)
wame	와머	(9-13a-3-2) (9-22a-1-2)
wasimbi 「降りる」	---	---
wasifi	와시피	(9-20a-2-6)
we 「誰」	위	(9-18a-2-5)
weihukelembi 「軽んじる」	---	---
weihukelehe	웨후커러허	(9-7a-2-5)
weile 「罪 ; 事」	웨리	(9-11b-1-5)
werimbi 「残す」	---	---
werire	위리리	(9-17b-1-3)
wesihun 「上に ; 東に ; 高貴な」	위시훈	(9-8b-3-1) (9-15a-5-6)
yabumbi 「行く、歩く ; 行う」	야븨비	(9-1a-6-3)
yabu	야부	(9-6a-1-3) (9-17b-3-6)
yabufi	야부피	(9-6a-6-5)
yaburakū	야부라쿠	(9-2b-3-4)
yabure	야부러	(9-3a-4-2)
yalumbi 「騎乗する」	---	---
yalufi	야루피	(9-2a-2-3) (9-7b-4-3) (9-18b-6-3)
yamjimbi 「日が暮れる」	---	---
yamjiha	얌지하	(9-16b-6-4)
yamjime	얌지머	(9-13b-5-1)
yamun 「衙門、役所、官庁」	야문	(9-19b-5-2)
yang 「漢語」 (hiyang yang 「襄陽」)	양	(9-18a-2-3) (9-18a-4-4)
yasai 「目の」	야새	(9-11b-5-1)
yaya 「すべての、諸々の」	야야	(9-5b-6-3)
yo 「漢語樂」 (yo jin 「樂進」)	요	(9-18b-1-4)
yohoron 「山の溝」	요호론	(9-3a-1-1)
yooni 「すべて」	윤니	(9-5b-6-5)
yung 「漢語雍」 (yung ts'y 「雍齒」)	융	(9-22a-1-3)
yuyumbi 「飢える」	---	---
yuyume	유유머	(9-1a-4-3)
yūn 「漢語雲」 (guwan yūn cang 「関雲長」)	윈	(9-7b-3-1) (9-19a-3-2)

(yūn cang 「雲長」)		(9-8b-2-6) (9-9b-1-1) (9-9b-3-1) (9-10a-4-5) (9-11a-6-1) (9-11b-2-5) (9-11b-6-1) (9-12b-1-2) (9-12b-3-3) (9-12b-6-1) (9-13a-2-5) (9-13a-4-4) (9-14b-5-5) (9-19b-3-1) (9-20a-1-2) (9-20b-2-1) (9-21a-1-1) (9-21a-4-3) (9-21b-2-2) (9-21b-4-3)
žu 「漢語孺」 (dzy dzo žu dzy 「子濯孺子」)	令	(9-11a-4-7)
žung 「漢語容」 (hūwa žung 「華容」) (hūwa žung doo 「華容道」)	令	(9-13b-1-3) (9-1a-2-7) (9-5a-4-4) (9-21a-3-5)

参考文献

<日本語文献>

- 池上二良 (1951) 「滿洲語の諺文文献に関する一報告」『東洋學報』33(2): 97-118.
- 池上二良 (1954) 「滿洲語の諺文文献に関する一報告 (承前)」『東洋學報』36(4): 57-74.
- 池上二良 (1963) 「ふたたび滿洲語の諺文文献について」『朝鮮學報』26: 94-100.
- 今西春秋 (1958) 「漢清文鑑解説」『朝鮮學報』12: 21-58.
- 王海波 (2026a) 「『三譯總解 (第三)』 ハングル表記滿洲語文語索引」『KOTONOHA』279: 1-40.
- 王海波 (2026b) 「『三譯總解 (第四)』 ハングル表記滿洲語文語索引」『KOTONOHA』279: 41-74.
- 小倉進平 (1914a) 「朝鮮に於ける日漢滿蒙語辭書」『朝鮮及滿洲』83: 40-46.
- 小倉進平 (1914b) 「朝鮮に於ける日・漢・滿・蒙語讀本」『東洋學報』4(2): 244-266.
- 菅野裕臣 (2005) 「朝鮮司訳院の清学書のハングル対音の性格について」『韓国語学年報』1: 1-8.
- 岸田文隆 (1989) 「清学書に現れた滿洲語ハングル表記について：特に滿洲字 e に対する 2 通りのハングル表記をめぐって」『言語学研究』8: 17-38.
- 岸田文隆 (1997) 「『三譯總解』の滿文にあらわれた特殊語形の来源」東京：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.
- 田村實造・今西春秋・佐藤長 (1966-1968) 『五體清文鑑譯解』京都：京都大學文學部内陸アジア研究所.
- 羽田亨 (1937) 『滿和辭典』京都：京都帝國大學滿蒙古調査會.
- 早田輝洋 (1993) 「滿洲語文語における「取りに(連れに)来る」を意味する動詞について：『滿文金瓶梅』を資料として」『文學研究』90: 89-130.
- 早田輝洋 (1998) 「滿洲語文語における文字表記と音韻についての一報告」『알타이학보』8: 55-76.
- 早田輝洋 (2008) 「滿洲語の音節構造：音節節約を中心にして」寺村政男・久保智之・福盛貴弘(編)『語学教育フォーラム (第16号)：言語の研究—ユーラシア諸言語からの視座—』21-51. 東京：大東文化大学語学教育研究所.
- 早田輝洋 (2009) 「滿洲字概説：有圈点滿洲字篇」久保智之・林徹・藤代節(編)『チュルク諸語における固有と外来に関する総合的調査研究』129-167. 福岡：九州大学人文科学研究院言語学研究室.
- 福田昆之 (2008) 『増訂滿洲語文語辞典』横浜：FLL.

和田景子 (2013) 『『漢清文鑑』における満洲語のハングル表記：特に満洲語の文字連続 CVwVを中心に』 寺村政男 (編) 『大東文化大学日本語学科 20 周年記念論文集』 244-255. 東京：大東文化大学日本語学科.

< 韓国語文献 >

高麗語言研究院(2006) 『朝鮮語古語詞典』 牡丹江: 黒龍江朝鮮民族出版社.

성백인(1984) 「譯學書에 나타난 訓民正音 使用: 司譯院 清學書의 만주어 한글 표기에 대하여」 『한국문화』 5: 21-63.

邵磊(2011) 「『漢清文鑑』을 통해 본 滿文의 한글表記法」 『中韓文化關係國際學術會議論文集』 290-308.

< 中国語文献 >

崔宰宇 (編著) (2005) 《汉清文鉴简编》 北京: 民族出版社.

崔宰宇 (1997) 『『漢清文鑑』의 編排體例和語音轉寫』 『中央民族大學學報 (社會科學版)』 1997(3): 82-89.

邵磊 (2016) 「清-朝鮮時期漢·滿·韓互譯中的文字對音：以『漢清文鑑』滿文的韓文表記法為例」 『編譯論叢』 9(2): 57-92.

邵磊·多麗梅 (2022) 「海外中國典籍的多語轉寫研究：以『清語老乞大』漢語-滿文的朝鮮文轉寫為例」 『東方語言學』 2022(2): 17-25.

邵磊·多麗梅 (2023) 「『三譯總解』滿文的朝鮮文轉寫研究」 『滿學研究』 2023: 195-204.

邵磊·金龍軍 (2022) 「清代滿朝對音文獻中的特殊轉寫：以滿文-w 系復元音的朝鮮文轉寫為中心」 『民族翻譯』 2022(4): 77-86.

邵磊·林茶英 (2022) 「論朝鮮清學書滿朝對音中的音節對稱與不對稱」 『滿語研究』 2022(2): 69-74.

邵磊·任國俊 (2023) 「清學書中的朝鮮文『圈點字』研究」 『民族翻譯』 2023(3): 78-88.

邵磊·王敵非 (2022) 「『清語老乞大』滿文的朝鮮文轉寫研究」 『滿族研究』 2022(2): 89-95.

王敵非 (2013) 「『清語老乞大』滿朝對音研究」 『黒龍江民族叢刊』 2013(6): 155-158.

< 英語・ドイツ語文献 >

Hauer, Erich. (1952-1955) *Handwörterbuch der Mandschusprache*. Tokyo: Deutsche Gesellschaft für Natur- und Völkerkunde Ostasiens.

Hauer, Erich. (2007) *Handwörterbuch der Mandschusprache, 2., durchgesehene und erweiterte Auflage herausgegeben von Oliver Corff*. Wiesbaden: Harrassowitz.

Ikegami, Jiro. (1957) Über die Herkunft einiger unregelmäßiger Imperativformen der mandchurischen Verben. In: Julius von Farkas und Omeljan Pritsak (Hrsg.), *Studia Altaica: Festschrift für Nikolaus Poppe zum 60. Geburtstag am 8. August 1957*. 88-94. Wiesbaden: Harrassowitz.

Ikegami, Jiro. (1990) Significance of Korean materials in the study of Manchu. *Altai Hakpo*. 2: 71-77.

Lie, Hiu. (1972) *Die Mandschu-Sprachkunde in Korea*. Bloomington: Indiana University.

von Möllendorff, Paul Georg. (1892) *A Manchu Grammar with Analysed Texts*. Shanghai: American Presbyterian Mission Press.

An Index to the Written Manchu Words Transcribed in Hangul
in the Ninth Volume of *Sam-yŏk Ch'ong-hae*

Haibo WANG
(Lingnan Normal University)

Keywords: *Sam-yŏk Ch'ong-hae*, Hangul Transcription, Written Manchu

Sam-yŏk Ch'ong-hae is one of the books compiled by the Bureau of Interpreters during the Joseon Dynasty in Korea. In this work, Written Manchu words were recorded in both the Manchu script and the Hangul transcription. Notably, the Hangul transcriptions do not always correspond directly to their Manchu script counterparts, suggesting that they may reflect phonetic nuances not fully represented in the Manchu script. This paper presents a Möllendorff-transcription-based index of Written Manchu words found in the ninth volume of *Sam-yŏk Ch'ong-hae*. By aligning the Hangul transcriptions with their equivalents in the Manchu script (represented in Möllendorff transcription), the index serves as a practical reference for exploring script correspondences and phonological details of Written Manchu.

(おう・かいは boljon@163.com)